

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 12月 19日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271300396		
法人名	医療法人社団大塚会		
事業所名	グループホームからこ		
所在地	〒854-0208 長崎県諫早市森山町唐比西 1125-2		
自己評価作成日	平成 24年 11月 15日	評価結果市町受理日	平成 25年 1月 8日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所 一階		
訪問調査日	平成 24年 12月 6日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

病院併設の為、緊急時等安心して暮らせる。又、常時ドクター・看護師と連携も取れる為、相談などもすぐ出来る。法人内外の研修に積極的に参加し、職員の意識・技術の向上に力を入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

入居者(家族)には金銭的負担を掛けないという、ホームの意向が窺えた。例えば、介護用ベッドは併設の病院から無償で貸与を受けたり、布パンツを取り入れた事により、リハビリパンツの購入代金が入居者によっては月5万円ほど軽減された方もいる。

また、入居者のペースで自由に過ごされており、職員も仕事の忙しさを入居者に感じさせないような配慮と気持ちに余裕をもった見守りと、寄り添いが実践されており、職員のスキルアップのため法人内研修に力を入れられている。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念をもとに日頃のケアについて、方向性を共有しケアの統一を図っている。</p>	<p>ホーム理念「やさしいほほえみ、やさしい手、やさしいまなざし」は介護に携わる者の姿勢や姿を表し、入居者の穏やかな表情や気持ちを具現化するものとなっており、職員は共通認識のもと入居者に接している。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>法人のお祭り・慰問等には出来るだけ参加していただき、繋がりを大切にしている。</p>	<p>唐比地区居住区と離れた場所にホームが所在しているが、法人全体の催しものへ自治会を通じ、広く呼び掛け地区の伝統芸（唐比浮立）等が披露されるなど関係作りに取組まれている。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>運営推進会議に参加された地域の方の相談や質問に専門的な助言を行った。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>実際に行っているサービス状況等報告し、意見交換を行っている。又、本年度は消防・包括支援センターの方にも参加していただいた。</p>	<p>形式的報告会の感じではあるが、運営推進会議メンバー以外からの参加（今回は消防団）を促したり、入居者の食事（高カロリー食等）を実体験していただくなど新たな運営推進会議の在り方に向け、取組まれている。</p>	
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>介護保険の更新手続きなどを市役所に出向き行っている。</p>	<p>市町との連携は主に法人全体として取組まれている状況である。ホームと市町担当者とは隔たりなく意見交換ができています。また、市の施設等の利用に当たり、入居者の目線で改善要求が自由に行える関係にある。</p>	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>夜間以外は施錠していないし、個々の状態把握に努め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。転倒防止のためのセンサーは活用している。</p>	<p>法人で研修委員会が設置されており毎月1回の法人研修（研修内容は年間計画に基づく）に参加し、身体拘束についての理解を深めている。また、職員は入居者が外に出たい素振りを捉え、数分間でも連れ立って散歩している。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日頃から高齢者虐待についての新聞記事等は全職員が閲覧し、研修にもなるべく参加するよう努めている。又、更衣時の身体チェックに気を付けてる。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>ケアプラン更新研修を受け、ミーティング、申し送り時周知する。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時の十分な説明を行っているし、疑問点があればその時に説明し理解していただくよう努力している。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱は設置しているが、書面での意見無い為、面会時・ケアプラン作成時に尋ねている。又、日常会話の中から意見要望をくみ取る様努めている。</p>	<p>家族は面会時が主に意向や要望を聴取する機会となっている、医療に関する要望等は併設の病院へ情報の提供を行っている。介護計画の見直し時期は、介護計画案を提示し、要望を汲み取り介護計画に反映させている。利用者の要望等は日常の機会を捉え把握されている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>スタッフミーティング・申し送りにて聞く機会を設けている。提案にて業務の改善等もしている。</p>	<p>職員との意見交換は、職員ミーティングで行われている。また、業務改善等の議題を提示し、職員からの意見を求める仕組みがあり、管理者等は職員に対し、話し易い環境整備に配慮されている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>各種資格手当や昇給あり、また、残業をしないよう努力し働きやすい職場環境・整備に努めている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修の機会も多く、参加している。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>連絡協議会にも入っており、研修会にも参加しているし、他ホームからの研修も受け入れている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者の不安や要望等日常会話を通してくみ取り安心を与える関係作りに努めている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の話を傾聴し、不安・要望を聞けるよう努めている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>事前に本人、家族の話に耳を傾け、カンファレンスを開き検討している。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>出来る事は共に協力して行きご自宅と変わらないような生活に近づけるよう気がけている。(洗濯物たたみ・ランチオンマット配り等)</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時・にて入居者の状態・思いなどをお伝えし共に協力し支え合っている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>来訪された知人、友人とゆっくり過ごす場の提供や電話連絡する機会も設けている。</p>	<p>入居者の面会等に場所を提供する等、ゆっくり談笑できるよう配慮されている。また、入居者が家族と過ごす機会を設けるため積極的に家族へ働きかける取組が行われている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>スタッフが仲介しトラブルがあっても大きくならない様支援し孤立しない様寄りそっている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>他、病院等へ入院された際には、お見舞いに行きご家族と連絡を取っている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人に直接希望を聞いたり、日常の会話・行動をよく観察し希望をくみ取る様努めている。</p>	<p>業務改善に積極的に取組み、入居者と自由に話す(意向把握)時間を増やす取組が行われている。また、把握した意向や要望は介護日誌(支援経過表)に記録され、介護計画書に反映されたり職員が情報を共有している。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時はサマリー他施設のケアプランナーより情報収集を行い、入居後は本人・家族の方に尋ねたりしている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>熱計表・個人記録・水分、排泄チェックにて把握に努めている。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人・ご家族の要望・主治医の意見をふまえたうえで、ミーティングで意見を出し合い介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画案を家族に示し、意見要望を聴取され、職員ミーティングに諮り、介護計画書が作成されている。また、職員は介護計画支援メニュー（支援項目の実施表）を毎日、チェックし、介護計画書の評価に繋げている。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録を作成し、スタッフ全員が目を通し、情報を共有し見直しに生かしている。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その時々ニーズに応じて意見を出し合い対応している。</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>移動図書館の活用、商業施設への買い物。</p>		
30	11 <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・ご家族の要望を聞き、個人に合わせた受診を行っている。</p>	<p>医療機関と併設ホームであり、医療支援を受ける利便性のため、希望があれば主治医の変更も行われている。専門病院への通院支援にも対応されている。</p>	

31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>病院と併設でもあり、報告・連絡・相談を密にしている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院と併設でもあり、報告・連絡・相談を密にしている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状態に応じて、主治医・ご家族・ホームスタッフとムンテラを行い支援に取り組んでいる。</p>	<p>看取りに取り組まれたが、家族の要望で医療措置へと変更になった経緯がある。終末期における職員への意識付けは、行われているが具体的な取組方法等について定めたものが無い。</p>	<p>介護保険の見直し等により終末期の看取りニーズが増すものと思われるため、マニュアルの作成、職員のスキルアップ研修や家族の協力（家族会の組成と支援が好ましい）及び医療機関との連携等、看取り体制の構築に期待したい。</p>
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>スタッフ全員が一緒ではないが、応急手当、初期対応の訓練を受けている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署からも来ていただき避難訓練・消火方法を教わる。</p>	<p>新たに消防署の人を運営推進会議に招くなど、協力関係を深められている。法人で自警消防団を組織されていてホーム職員も団員となっている。非常食品の備蓄もある。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けには注意し入居者様の気分を書けない様に気を付けている。 入居者同士のいさかいにも複数の職員が当たり、差別化の防止と人格や誇りに配慮した取り組みが実践されている。また、必要な声掛け（トイレ誘導等）にも小声で行うなど、入居者に気遣った取組みをされている。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の会話・行動表情より希望などをくみ取るよう努めている。
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースに寄り添って過ごしていただいている。（就寝・起床時間等）
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で選べる方は自分でしていただいているし、選べない方はご家族に協力していただき、着慣れたその人らしい衣類を持っていただいている。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌いを把握し、準備・片付けは出来る方はしていただいている。 半年に1回嗜好調査（意思表示ができない方は残菜等の把握）を行っている。入居者の口腔状態により、同じ食材を別メニュー仕立てに作り替えている。また、入居者も出来る手伝いを職員と一緒にしている。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は記録にてチェックしているし、個々に合わせた食事を提供している。

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後行い夜間は洗浄剤を使用している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェックシートを活かし、排泄パターンの把握に努め出来るだけオムツの使用をしない様努めている。</p>	<p>家族の金銭的負担軽減と入居者の「快適」を考え、職員の介護負担は増えるものの、リハビリパンツを控えて布パンツで過ごしていただく取り組みが行われている。入居者の失禁等恥じらいにも気を遣った声掛けで安堵感を与えるような配慮がされている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>適度な運動（体操）を取り入れている。状態によっては、ドクター・看護師に相談し指示を得ている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴日は決めているが、入居者の希望をふまえながら入浴支援をしている。</p>	<p>入居者の入浴日の割り振りが行われているが、希望や失禁等の場合、柔軟な対応となっている。また、車椅子利用者が浴槽に浸かれるように、10月にリフトが設置された。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個々の体力・習慣・希望に応じて臥床の援助や促しを行い対応している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>居宅療養管理指導にて報告・連絡を密にし入居者の状態把握に努めているし、服薬管理表にて薬の確認は行っている。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>出来る範囲で役割を持ってしていただく。誕生日会（1回/月）行事等で気分をはかっていただく。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>入居者様の体調、ご家族の都合など相談して、外出の支援をしている。</p>	<p>近隣に商店等が無い場合、買い物等入居者の要望があれば、車による買い物支援が行われている。また、天気や入居者の状態により、法人施設内の散歩など外気に触れるように取組んでいる。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭を預かる体制はあるが小遣い程度の為、個人で管理していただいている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人の希望に添い電話・連絡しているし、出来ない方はスタッフが促している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>温度調整、空気の流れかえ等不快にならない様心がけている。季節によって花、飾り付け等行っている。</p>	<p>採光、温度や湿度に配慮されている。共用部の一部が備品置場となっていたり、洗濯物が干してある。四季に合わせ、オブジェが玄関口に飾られ季節ごとの行事が感じ取れるようになっていく。</p>	<p>共用部の畳の間を整理し、クッションや枕を置くなど、入居者が過ごせる空間を増やすための工夫が望まれる。また、中庭の有効活用について検討されることを期待したい。</p>
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>その時の状況で、和室臥床、ソファ等の空間等なじみの場所で談話出来る様しているし各自の居室に遊びに行かれたりされている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の方に協力していただき、使い慣れたもの、好きな物を持ってきていただいている。	調度品や身の回りの品の持込みは入居者の自由意思に任されている。訪問時は全室フロアとなっているが、入居者の希望により、畳を敷いて「畳の間」を設けた事もあり利用者の意向を尊重した居室作りを行っている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全面に手すりの設置あり。車椅子でも使用できるトイレ(2か所)バリアフリー・リフト浴の完備あり自立した生活ができる様工夫されている。		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない	

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念をもとに日頃のケアについて、方向性を共有しケアの統一を図っている。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>法人のお祭り・慰問等には出来るだけ参加していただき、繋がりを大切にしている。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>運営推進会議に参加された地域の方の相談や質問に専門的な助言を行った。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>実際に行っているサービス状況等報告し、意見交換を行っている。又、本年度は消防・包括支援センターの方にも参加していただいた。</p>		
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>介護保険の更新手続きなどを市役所に出向き行っている。</p>		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>夜間以外は施錠していないし、個々の状態把握に努め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。転倒防止のためのセンサーは活用している。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日頃から高齢者虐待についての新聞記事等は全職員が閲覧し、研修にもなるべく参加するよう努めている。又、更衣時の身体チェックに気を付けてる。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>ケアプラン更新研修を受け、ミーティング、申し送り時周知する。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時の十分な説明を行っているし、疑問点があればその時に説明し理解していただくよう努力している。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱は設置しているが、書面での意見無い為、面会時・ケアプラン作成時に尋ねている。又、日常会話の中から意見要望をくみ取る様努めている。</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>スタッフミーティング・申し送りにて聞く機会を設けている。提案にて業務の改善等もしている。</p>		

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>各種資格手当や昇給あり、また、残業をしないよう努力し働きやすい職場環境・整備に努めている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修の機会も多く、参加している。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>連絡協議会にも入っており、研修会にも参加しているし、他ホームからの研修も受け入れている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者の不安や要望等日常会話を通してくみ取り安心を与えられる関係づくりに努めている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の話を傾聴し、不安・要望を聞けるよう努めている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>事前に本人、家族の話に耳を傾け、カンファレンスを開き検討している。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>出来る事は共に協力して行いご自宅と変わらないような生活に近づけるよう気がけている。(洗濯物たたみ・ランチョンマット配り等)</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時・にて入居者の状態・思いなどをお伝えし共に協力し支え合っている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている</p>	<p>来訪された知人、友人とゆっくり過ごす場の提供や電話連絡する機会も設けている。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>スタッフが仲介しトラブルがあっても大きくならない様支援し孤立しない様寄りそっている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>他、病院等へ入院された際には、お見舞いに行きご家族と連絡を取っている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人に直接希望を聞いたり、日常の会話・行動をよく観察し希望をくみ取る様努めている。</p>		

24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時はサマリー他施設のケアプランナーより情報収集を行い、入居後は本人・家族の方に尋ねたりしている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>熱計表・個人記録・水分、排泄チェックにて把握に努めている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人・ご家族の要望・主治医の意見をふまえたうえで、ミーティングで意見を出し合い介護計画を作成している。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録を作成し、スタッフ全員が目を通し、情報を共有し見直しに生かしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その時々ニーズに応じて意見を出し合い対応している。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>移動図書館の活用、商業施設への買い物。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・ご家族の要望を聞き、個人に合わせた受診を行っている。</p>		
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>病院と併設でもあり、報告・連絡・相談を密にしている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院と併設でもあり、報告・連絡・相談を密にしている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状態に応じて、主治医・ご家族・ホームスタッフとムンテラを行い支援に取り組んでいる。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>スタッフ全員が一緒ではないが、応急手当、初期対応の訓練を受けている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署からも来ていただき避難訓練・消化方法を教わる。</p>		

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けには注意し入居者様の気分を害さない様に気を付けている。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の会話・行動表情より希望などをくみ取るよう努めている。
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースに寄り添って過ごしていただいている。 (就寝・起床時間等)
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で選べる方は自分でしていただき、選ばない方はご家族に協力していただき、着慣れたその人らしい衣類を持っていただいている。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌いを把握し、準備・片付けは出来る方はしていただいている。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は記録にてチェックしているし、個々に合わせた食事を提供している。

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後行い夜間は洗剤を使用している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェックシートを活かし、排泄パターンの把握に努め出来るだけオムツの使用をしない様努めている。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>適度な運動（体操）を取り入れている。状態によっては、ドクター・看護師に相談し指示を得ている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴日は決めているが、入居者の希望をふまえながら入浴支援をしている。</p>		
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個々の体力・習慣・希望に応じて臥床の援助や促しを行い対応している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>居宅療養管理指導にて報告・連絡を密にし入居者の状態把握に努めているし、服薬管理表にて薬の確認を行っている。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>出来る範囲で役割を持っていただくと。誕生日会（1回/月）行事等で気分をはかっていただく。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>入居者様の体調、ご家族の都合など相談して、外出の支援をしている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭を預かる体制はあるが小遣い程度の為、個人で管理していただいている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人の希望に添い電話・連絡しているし、出来ない方はスタッフが促している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>温度調整、空気の入替え等不快にならない様心がけている。季節によって花、飾り付け等行っている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>その時の状況で、和室臥床、ソファーでの空間等なじみの場所で談話出来る様しているし各自の居室に遊びに行かれたりされている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の方に協力していただき、使い慣れたもの、好きな物を持ってきていただいている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全面に手すりの設置あり。車椅子でも使用できるトイレ(2か所)バリアフリー・リフト浴の完備あり自立した生活が出来る様工夫されている。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらいの
		3, 利用者の1/3くらいの
		4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまにある
		4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3, 家族の1/3くらいと
		4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない